目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	利用者の居室のベッドが、大きな衣類収納タンスの近くに配置している部屋がある。また、入室して真上にある天井棚に、利用者の荷物を置いている。地震の際、倒れたり、落下し、利用者に危害が及ぶ可能性がある。	利用者が安全に過ごせる環境、居室作りを行う。	再度、全居室の間取りを確認し、必要であれば、ベッドや家具の移動を行う。所長に相談し、タンスの固定(倒れにくくする)を行い、天井棚にも、物が落下しないよう、ガードが出来る物の設置の検討を行う。	2ヶ月
2	6	現在、身体拘束に該当する入居者はいないが、玄関の施錠(オートロック)は行っている。玄関を出てすぐに、交通量の多い道路がある。職員が、入居者の見守りを行うフロア(食堂)から玄関までの距離が遠く、死角もあり、事故防止の観点から、施錠を行っている。しかしこれは、利用者の行動の抑制に該当しているのではないかと。	現在、入居者の外出希望時は、職員の付き添いのもと、玄関を開錠しているが、それ以外でも、玄関を開錠する時間を設ける。	見守りを行う職員を多く確保できる、入居者の昼食の時間や、3時のおやつ時間に玄関を開錠する時間を設ける。	3ヶ月
3	2	コロナ禍で地域の行事に参加できていない。地域との交流、繋がりが疎かになっている。	地域行事への参加は難しくても、連絡をとったりと、常にアンテナを張り、情報を得る。	現状、面会制限もあり、法人全体で、人を入れない対応を行っている為、地域行事への参加は難しいところではあるが、当施設の近隣には小学校、幼稚園があるので、こちらから連絡をとり、まずは屋外での行事、交流ができるように、計画を立てる。	12ヶ月
4	4	2ヶ月に1回開催されていた運営推進会議が、現在の状況で出来なくなっている。議事録や資料の配布、電話での聴取以外に、何か出来ないか。	対面での運営推進会議の開催、もしくは、現状より、良い意見の聴取を行う。	法人内の会議室、感染症対策が出来る地域の大きな会議室や公民館が利用できるよう、各方面にアプローチをかけ、対面での会議の開催ができるようにする。	12ヶ月
5	36	リビングや玄関に防犯カメラの設置があり、映像の取り扱いや管理方法が未整備であり、利用者のプライバシーの侵害に繋がるのではないかと。	防犯カメラの取り扱いや管理方法について、適切なルールや指針を設け、利用者のプライバシーの侵害を防止する。	防犯カメラの操作は、必要な際、所長、管理者のみ可能としている。あくまで「防犯」カメラであるので、不審者の侵入抑止効果や、職員の虐待防止、利用者の事故(転倒等)が起こった際の確認等、限定的な取り扱いをしている。	12ヶ月
6	52	リビングや玄関に防犯カメラの設置があり、映像の取り扱いや管理方法が未整備である。	防犯カメラの取り扱いや管理方法について、適切なルールや指針を設け、居心地の良い空間づくりを行う。	防犯カメラの操作は、必要な際、所長、管理者のみ可能としている。あくまで「防犯」カメラであるので、不審者の侵入抑止効果や、職員の虐待防止、利用者の事故(転倒等)が起こった際の確認等、限定的な取り扱いをしている。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。